

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



緑小だより 春休み号

令和6年3月25日（月）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 菅野 康一

【むずかしいことをやさしく】

正門の桜の花も咲き始め、いよいよ本格的な春の訪れを感じるようになりました。おかげをもちまして、本日の修了式をもって、今年度の教育活動を終えることができました。3月19日の卒業式では、53名の6年生が、堂々と立派な態度でこの緑が浜小学校を巣立っていきました。6年間積み重ねてきた学び、仲間と築き上げた絆、そしてかけがえのない経験に自信と誇りをもって、中学校でも元気に頑張ってくれることを願っています。在校生を代表して参加した5年生の態度も素晴らしいものでした。きりっと引ひきしまった表情、ぴしっとそろったひとつひとつの動き、心のこもったことばや歌声。そのすべてから、最高学年としてのバトンを受け継ぐ重みを感じながら、自分たちの役割をきちんと果たそうという真心と自信が伝わってきました。

私の好きな言葉に「作家 井上ひさし先生」のこの言葉があります。

むずかしいことをやさしく

やさしいことをふかく

ふかいことをおもしろく

おもしろいことをまじめに

まじめなことをゆかいに

そして、ゆかいなことはあくまでもゆかいに・・・

私の場合、職業柄もありますが、「教え方の秘訣」を伝授されているような気がします。

- ①まず、難しいことをそのまま伝えるのはだめで、相手が分かるまでかみくだいて教える。
- ②単に分かりやすく伝えるだけでなく相手の興味を引くこと。相手が前のめりになる位でなければだめ。
- ③決して義務的な感じではなく、自発的にもっと知りたいと勉強に向かうように導いてあげる。

あなたは指導者として、簡単に教えることができますか？と井上ひさし先生は仰っているように感じます。

さて新年度は、難しいことを易しく
そして優しく子どもたちに伝えていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、いつも緑が浜小学校を見守りいただきましてありがとうございます。新年度もよろしくお願いいいたします。

